りんごの着色は、時代が求める新技術
“DiNA プロリン”“ケルパック 66”にお任せ下さい

収穫の大幅な省力化を実現!!

写真は新技術を
利用した‘平賀つがる’
と‘ひろさきふじ’

表1-1　DiNAプロリン、グルタン、ケルパック６６の３製品を組み合わせ処理することによって可能になるリンゴの葉摘み省力化技術（注：グルタンは7～10日おきに散布することが理想であるため、表1の使用時期に拘わらず間隔が7～10日空いたら、忘れずに500倍液を散布して下さい。）

品種	使用目的	使用時期	使い方
早生種 つがる さんさ	凍害・霜害防止	凍害防止は開花一ヶ月前、 霜害防止は開花期	霜ガード５０倍+グッドパートナー1000倍混合液を 開花一か月前と開花期の２回散布する。
	樹勢の充実	雪解け時	ケルパック原液１ℓ/１０aを適宜うすめ表土に散布する。
	病気フリーのクリーンな 環境作りに	胞子飛散前	グルタン原液3ℓ/10a を適宜うすめ表土に散布する。
	細胞分裂を盛んにし細胞数を 増やすため	満開直後～20日以内	DiNAプロリン1000倍+グルタン500倍液を散布する。
	光合成能を高め糖の 生成・蓄積を図るため、 日焼け防止	5月中下旬	ケルパック 1000倍 ＋グルタン500倍 ＋色一番E 1000 倍 ＋ カルビタ1000倍 ＋ ビタカルシウム55　90～180倍 ＋ グッドパートナー1000倍
		6月上旬	グルタン500倍
		6月中旬	DiNAプロリン1000倍 ＋ グルタン500倍 ＋ カルビタ1000倍 ＋ ビタカルシウム55　90～180倍 ＋ グッドパートナー1000倍 ＋ アミノマリーン1000倍
		6月下旬	グルタン500倍
	栄養成長から生殖成長への 転換準備のため	7月上中旬	DiNAプロリン1000倍 ＋ グルタン500倍 ＋ カルビタ1000 ＋ こかげ1000 ＋ グッドパートナー1000倍 ＋アミノマリーン1000倍
		7月下旬	グルタン500倍
	生殖成長への本格的な 転換を図るため	8月上旬	DiNAプロリン1000倍 ＋ グルタン500倍 ＋ カルビタ1000 ＋アミノマリーン1000倍 ＋ こかげ1000倍 ＋ グッドパートナー1000倍
		8月中旬	グルタン500倍
	果汁の入りが増し果実が 重くなる、軟化防止	収穫1週前	ケルパック750倍液散布

品種	使用目的	使用時期	使い方
中生種 王林 千秋 秋映 陽光 ぐんま名月 ジョナゴールド シナノゴールド シナノスイート ひろさきふじ	凍害・霜害防止	凍害防止は開花一ヶ月前、 霜害防止は開花期	霜ガード５０倍+グッドパートナー1000倍混合液を 開花一か月前と開花期の２回散布する。
	樹勢の充実	雪解け時	ケルパック原液１ℓ/１０aを適宜うすめ表土に散布する。
	病気フリーのクリーンな 環境作りに	胞子飛散前	グルタン原液3ℓ/10a を適宜うすめ表土に散布する。
	細胞分裂を盛んにし細胞数 を増やすため	満開直後～20日以内	DiNAプロリン1000倍+グルタン500倍液を散布する。
	光合成能を高め糖の 生成・蓄積を図るため、 日焼け防止	5月中旬	ケルパック 1000倍 ＋グルタン500倍 ＋ 色一番E 1000 倍 ＋ カルビタ1000倍 ＋ ビタカルシウム55　90～180倍 ＋ グッドパートナー1000倍
		5月下旬	グルタン500倍
		6月上旬	DiNAプロリン2000倍 ＋ グルタン500倍 ＋ カルビタ1000 倍 ＋ ビタカルシウム55　90～180倍 ＋グッドパートナー1000倍 ＋　アミノマリーン1000倍
		6月中下旬	グルタン500倍
	栄養成長から生殖成長への 転換準備のため、日焼け防止	7月上中旬	DiNAプロリン2000倍 ＋ グルタン500倍 ＋ カルビタ1000 倍 ＋ こかげ1000 倍＋ グッドパートナー1000倍 ＋アミノマリーン1000倍
		7月下旬	グルタン500倍
		8月上中旬	DiNAプロリン1000倍 ＋ グルタン500倍 ＋ カルビタ1000 倍 ＋ こかげ1000 倍＋ グッドパートナー1000倍 ＋アミノマリーン1000倍
		8月下旬	グルタン500倍
	生殖成長への本格的な転換	9月上旬	DiNAプロリン1000倍 ＋ グルタン500倍 ＋ カルビタ1000倍 ＋色一番1000倍＋ こかげ1000倍 ＋ グッドパートナー1000倍 ＋アミノマリーン1000倍
		9月中旬	グルタン500倍
	果汁の入りが増し果実が 重くなる、軟化防止	収穫1週前	ケルパック750倍液散布

表1-2

品種	使用目的	使用時期	使い方
晩生種 ふじ	凍害・霜害防止	凍害防止は開花一ヶ月前、霜害防止は開花期	霜ガード５０倍+グッドパートナー1000倍混合液を 開花一か月前と開花期の２回散布する。
	樹勢の充実	雪解け時	ケルパック原液１ℓ/１０aを適宜うすめ表土に散布する。
	病気フリーのクリーンな 環境作りに	胞子飛散前	グルタン原液3ℓ/10a を適宜うすめ表土に散布する。
	細胞分裂を盛んにし細胞数 を増やすため	満開直後～20日以内	DiNAプロリン1000倍+グルタン500倍液を散布する。
	光合成能を高め糖の 生成・蓄積を図るため, 日焼け防止のため	5月中旬	ケルパック 1000倍 + グルタン500倍+ 色一番E 1000 倍 ＋ カルビタ1000 倍+ ビタカルシウム55　90～180倍 + グッドパートナー1000倍
		5月下旬	グルタン500倍
		6月中旬	DiNAプロリン2000倍 + グルタン500倍 + カルビタ1000倍 ＋ ビタカルシウム55　90～180倍 +グッドパートナー1000倍 +　アミノマリーン1000倍
		6月下旬	グルタン500倍
	栄養成長から生殖成長への 転換準備のため、 日焼け防止のため	7月上中旬	DiNAプロリン2000倍 + グルタン500倍 + カルビタ1000倍 ＋ こかげ1000倍 + グッドパートナー1000倍 +アミノマリーン1000倍
		7月下旬	グルタン500倍
		8月上中旬	DiNAプロリン1000倍 + グルタン500倍 + カルビタ1000倍 ＋ こかげ1000倍 + グッドパートナー1000倍 +アミノマリーン1000倍
		8月下旬	グルタン500倍
	生殖成長への本格的な 転換のため	9月中旬	DiNAプロリン1000倍 + グルタン500倍 + カルビタ1000 倍 ＋色一番Ｅ1000倍+ こかげ1000倍 + グッドパートナー1000倍 +アミノマリーン1000倍 ※津軽地方では9月中旬頃をもって止め消毒とするため、この時期以降のＳＳ処理はできなくなるが余裕のある方は手散布で処理下さい。
		9月下旬	グルタン500倍
		10月上中旬	DiNAプロリン1000倍 + グルタン500倍 + カルビタ1000 倍 ＋色一番Ｅ1000倍+ こかげ1000倍 + グッドパートナー1000倍 +アミノマリーン1000倍 ※収穫1週間と言えば既にシルバーを剥がしている筈で、この時期のケルパック処理は果汁が一杯入る重要な時期であるため必ず処理するようにして下さい。
	果汁の入りが増し果実が 重くなる、軟化防止	収穫1週前	ケルパック750倍液散布

葉採らずリンゴを可能にした「Dina プロリン」、「ケルパック 66」、「グルタン」3 材の特徴と 10 アール・一作当たりの使用量及び使用コスト

核酸 ・海藻エキス・アミノ酸（プロリン・メチオニン）

DiNAプロリン1号

1ℓ入り、5ℓ入り

葉摘み省力化技術
花芽充実、
着色促進、糖度アップ

●DiNA プロリンは核酸に生理活性を高める効能の有るアミノ酸のプロリン、生殖成長（エチレンの発生）を促すメチオニン、発根を促進作用のあるオーキシンを含むケルパックから成る製材です。
開花後 2 週以内に散布しておくと細胞分裂が活発になり細胞数が増えます。
後半、それぞれの細胞に養分が蓄えられと見事に玉が大きくなります。
着色もよくなり、糖度も増すため市場の評価が高まります。

納豆菌からなる微生物資材

グルタン

1ℓ入り、10ℓ入り、18ℓ入り

生育環境が改善され
クリーンになる
土壌の保水力・保肥力向上

●グルタンは納豆菌資材で生きています。納豆菌の繁殖力はズバ抜けて旺盛で他の菌を押しのけてでも自分の勢力圏を築こうとします。
それ故、他の菌は出番が無く駆逐されてしまうようです。そうは言っても納豆菌も生き物、時間が経てばやがて力を失い死滅してしまいます。勢力圏を維持してやろうとすれば新たな力を吹き込んでやる必要があります。
そのためには前回の処理から 7 ～ 10 日過ぎたら表 1 の使用暦の処理スケジュールに関わらずグルタン 500 倍の単独散布を行うようにして下さい。
●昔から腐乱病対策にドロ巻きやワラ巻きがよいと言われていることはご存知でしょうが、介護用のオシメにグルタン原液をしみ込ませ枝巻きすると治ったと言う声が数多く寄せられています。そういえばワラには納豆菌がいましたね。ガッテン。
●グルタンには干害防止効果があります。
原液 5ℓ ～ 10ℓ /10a を 500 ～ 1,000 倍に希釈し葉面散布すると葉に艶が出て元気になります。
一方、滴り落ちた液は土壌の粒子と粒子の間に架橋し保水性を高めるため干害防止効果が期待できます。

南アフリカ産巨大海藻エキス

ケルパック66®

1ℓ入り、5ℓ入り、10ℓ入り、25ℓ入り

●含有成分のオーキシン様物質の働きで根量が増え、生育が旺盛になります。
光合成能力も高まるため、糖度は増し、増収します。

※価格は地域によって多少の変動がございます。ご了承ください。

使用事例

《散布事例 1》

イ）試験場所：弘前市　SK 氏園地

ロ）品種：平賀つがる（葉取らず栽培）

ハ）散布時期・濃度・回数

第一回目：7 月 31 日　DiNA プロリン 1000 倍

第二回目：8 月 18 日　DiNA プロリン 1000 倍（農薬に混用）

ニ）収穫始め：9 月 5 日より

ヘ）結果・コメント：

・収穫直前の様子をみても着色は十分。樹全体が着色した。

・糖度は 12 度。9 月 1 日時点でも食味は美味しさを感じる。

・花そう葉が良く立っている。葉取らず栽培でも十分着色が期待でき、ツル回しの手間が省けそうだ。

《散布事例 2》

イ）試験場所：青森県鶴田町　MS 氏園地

ロ）品種：早生ふじ－ほのか

ハ）散布時期・濃度・回数

第一回目：8 月 5 日　DiNA プロリン＋ケルパック 66　各 1000 倍

第二回目：8 月 15 日　DiNA プロリン＋ケルパック 66　各 1000 倍

第三回目：9 月 5 日　DiNA プロリン＋ケルパック 66　各 1000 倍

ヘ）結果・コメント：

・樹全体が均一に着色した。

・無処理区は設けていないが、DiNA プロリンとケルパック 66 を使用することで、これまでの栽培の中で最も満足いく着色管理ができた。

《散布事例 3》

イ）試験場所：青森県板柳町　KT 氏園地

ロ）品種：ひろさきふじ

ハ）散布時期・濃度・回数

第一回目：8 月 4 日　DiNA プロリン 1000 倍

第二回目：8 月 14 日 DiNA プロリン 1000 倍

ヘ）結果：

・樹全体が均一に着色した。

・枝下や北側のりんごも着色した。

・尻の部分も見事に着色した。

・糖度：12.6 度

DiNA プロリン・ケルパック 66 新技術の製品ラインアップ

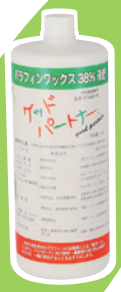
汚れの少ない
日焼け防止材

こかげ®
2kg 入り

日焼け防止、硬度アップ

有機・炭酸カルシウム肥料
ビタカルシウム 55
5.5kg 入り

日焼け防止、
肥料・農薬の降雨
による流亡防止



パラフィンワックス入り液肥
グッドパートナー
1ℓ, 5ℓ 入り

増収、旨味・コク味強化

アミノマリーン®
有機アミノ酸・核酸液肥
(鰹100%エキス)
1, 5, 10, 18ℓ 入り

発根促進、光合成能力の向上、
増収、糖度アップ

南アフリカ産巨大海藻エキス
ケルパック®66
1, 5, 10, 25ℓ 入り

徒長防止、
着色促進、糖度アップ

微量要素入り配合肥料
色一番E 1kg入り
りん酸 42%、加里 28%
苦土 2%

硬度・日持ち性・耐病性向上、
食感向上、品質向上

微量要素入り　有機カルシウム肥料
カルビタシリーズ
(カルビタ、カルビタP)
1kg入り　750g入り

花芽充実、
着色促進、糖度アップ

核酸・海藻エキス
・アミノ酸(プロリン・メチオニン)
DiNAプロリン1号
1ℓ, 5ℓ 入り

土壌の保水力・保肥力向上

糖蜜を納豆菌が発酵させた微生物資材
グルタン
1, 10, 18ℓ 入り